

# 事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
		○		

事務事業No 事業名  
**475** 観光施設管理事業（観光遊歩道路、片男波海水浴場駐車場等の観光施設の維持管理）

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		観光費	
	目		観光振興費	
	大事業		観光振興事業	
事項		観光施設管理事業		

「3つのキーワード」との関連性

いのちを守る	人と文化を育てる	ふるさと力を高める	該当せず
			○

分野別目標	3	市民と地域がつくる元気なまち
政策	3	観光の振興
施策	1	観光客受入体制の整備
取組	1	観光基盤施設の保全・充実

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間	永年	～	
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	観光課	市川 雅章 (435-1234)	
関連課			

## 1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	観光施設の維持管理を行い、観光客の受入体制の整備を図る。	観光施設の維持管理（市営片男波海水浴場駐車場、和歌浦観光遊歩道路、雑賀崎観光灯台等）。				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		○市営片男波海水浴場駐車場管理運営 ○観光遊歩道路 ○観光燈台 ○案内板設置 ○松くい虫予防事業	○市営片男波海水浴場駐車場管理運営 ○観光遊歩道路 ○観光燈台 ○案内板設置 ○松くい虫予防事業	○市営片男波海水浴場駐車場管理運営 ○観光遊歩道路 ○観光燈台 ○案内板設置 ○松くい虫予防事業	○市営片男波海水浴場駐車場管理運営 ○観光遊歩道 ○観光燈台 ○案内板設置 ○松くい虫予防事業	○市営片男波海水浴場駐車場管理運営 ○観光遊歩道路 ○観光燈台 ○案内板設置 ○松くい虫予防事業

## 2 事業コスト

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	33,085	32,924	18,409	18,285	14,686	14,659	14,604	14,759	15,651	
伸び率 (%)	-	-	-44.4%		-20.2%		-0.6%		7.2%	
人件費	常勤職員	10,088	10,158	10,088	9,877	6,026	6,159	6,026	6,259	6,259
	非常勤職員	0	313	0	224	224	224	302	302	302
	小計	10,088	10,471	10,088	10,101	6,250	6,383	6,328	6,561	6,561
国庫支出金										
県支出金	118	116	118	115	118	69	118	172	117	
市債										
その他	13,910	13,961	5,507	5,507	5,507	5,507	5,507	5,507	5,507	
一般財源（税等）	19,057	18,847	12,784	12,663	9,061	9,083	8,979	9,080	10,027	
所要人数	常勤職員	1.27	1.33	1.27	1.33	0.8	0.82	0.8	0.84	0.84
	非常勤職員	0	0.21	0	0.29	0.11	0.11	0.14	0.14	0.14
主な予算内訳	駐車場管理運営委託料5,500千円、光熱水費2,812千円									

## 3 目標及び実績

		指標名及び達成状況			平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
活動指標	市営片男波海水浴場駐車場利用台数	年度目標値			21,000	22,000	23,000	24,000	24,000	
		実績値			17,484	17,687	14,825	16,413		
	単位	全体目標値		全体目標達成度	83.3%	80.3%	64.4%	68.3%		
成果指標	市営片男波海水浴場駐車場利用台数	年度目標値			21,000	22,000	23,000	24,000	24,000	
		実績値			17,484	17,687	14,825	16,413		
	単位	台	全体目標値	24000	全体目標達成度	73.6%	83.3%	80.3%	64.4%	68.3%
					年度目標値					
					実績値					
					年度別達成度					

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性(担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	安全・安心で快適な観光地を整備し、維持管理することは、観光客誘致の最も基本的な事業である。近年は、特に健康意識が高いことから、「歩く」という視点で整備を強化していく。
「見直し」「改善」案 ※上記、「今後の方向性」において、「事業内容」、「コスト投入」の方向性が共に「現状維持」以外の場合は記載	